

山田長政とタイ王国

【その出生とタイへの渡航】

山田仁左衛門長政は、天正十八年（1590）頃、駿府の馬場町（いまの浅間通り）に生まれた。父は紺屋津国屋の二代目九左衛門、母は薬科富厚里の出身であったと伝えられている。
慶長十七年（1612）頃、長政は駿府の商人滝佐右衛門・太田治右衛門が船主の貿易船に乗ってシャム（=タイ）に渡った。長政が渡航した頃のシャムは、アユタヤに国都を置くアユタヤ王朝の時代だった。アユタヤは東南アジア交易網の重要な拠点として物産を集積・供給するだけでなく、アジアとヨーロッパを結ぶ海路貿易の中継地だった。長政はここで日本人町の頭領をつとめた。また、ソングタム王の信託をうけて王室付きの日本人護衛兵の長となって活躍し、数々の武勲をうちたてた。

【タイでの活躍】

山田長政は戦前の日本においては武勇伝ばかりが強調されていたが、長政の本領は武人の功績よりも、国際的な貿易商としての手腕にある。東西各国の仲買人たちが入り乱れてしのぎを削る国際都市アユタヤで、長政は熾烈な経済戦争に勝ち続ける。日タイの貿易はもちろん、マラッカ（マレーシア）やバタビア（インドネシア）などにも商船を送り盛んに交易を行った。長政はアユタヤを拠点とする貿易を一手に引き受け、その勢いは、世界最大の海運交易企業の東インド会社を相手に一歩も譲らず、同社のアユタヤ支社を閉鎖させてしまうほどだった。
寛永三年（1626）、長政は「オークブラ」という正規の官位をアユタヤ王室から与えられた。寛永五年（1628）には、ついに最上位の官位であるオークヤー・セーナビモックにまで昇進し、以後長政はタイの歴史ではこの官位名で記憶されている。
長政は祈願成就を記念して、故郷駿府の浅間神社に『戦艦圖絵馬』を奉納した。絵馬の原図は天明八年（1788）の火災で消失したが、駿府勤番榊原長俊が模写した図が残されている。

【六昆王に、そして悲運の最期】

寛永六年（1629）、タイの使節団が三代将軍徳川家光に謁見し、日本とタイの国交が樹立する。その仲介役をつとめたのが山田長政だった。長政の尽力で日タイ両国の交流はますます盛んになるが、この頃から長政の人生は不穏な方向へと大きく転回する。この年ソングタム王の崩御によって王室内に王位継承をめぐる抗争が起き、長政も否応なしにまきこまれるのである。様々な政治的駆け引きが王室内で続く中、長政は、当時内乱状態にあったリゴール（六昆、現在のタイ南部、ナコン・シータマラート）の平定を命じられる。日本人義勇軍二千人を率いた長政は見事に争乱を鎮め、六昆王（リゴール国王）に任ぜられた。小国といえども長政は一国の「王」となったのである。しかしそれも束の間、長政は戦闘で足に受けた傷が悪化して、波瀾万丈の生涯を閉じた。何者かが傷に毒を塗ったのだとも言われている。寛永七年（1630）、長政は四十歳だった。
故国日本にもアユタヤにも戻ることなく、山田長政は異国の土となった。270年後、ナコンには長政を追悼する記念碑がたち、「ナガサ・ストリート」と呼ばれる通りがいまもある。

「日・タイ友好 長政まつり」について

1986年、静岡の若者有志によるささやかな「まつり」が浅間通りで行われました。徳川家康が駿府城に在城していた頃にタイへ渡り、波乱の生涯を送った山田仁左衛門長政がこの浅間通りの出身であることにちなみ、イベントは「長政まつり」と命名されました。これが「第1回 長政まつり」です。
その後、浅間通り商店街に引き継がれた「長政まつり」は、山田長政を記念顕彰するのみならず、日本とタイの交流の架け橋となった長政にならい、日タイの親睦を推進する「日・タイ友好」事業として、タイフードやタイ舞踊など、タイ文化の魅力を紹介してきました。
2000年には商店街の新アーケードの完成と共に、念願であった山田長政公像の建立が実現しました。これを契機に山田長政を学問的に研究する会が地元で発足し、長政まつりは一過性のイベントから、地域独自の歴史文化や伝統を再発見する「学びの場」ともなりました。
2005年からは在京タイ王国大使館・大阪タイ王国総領事館の大々的な支援を受けて、「日・タイ友好 長政まつり」は地方都市の一商店街としては類例のない国際的なイベントへとますます発展・進化しているところです。



第24回 日・タイ友好 長政まつり 開催

日時 2009年10月11日(日) 11:00~17:00
場所 静岡浅間通り商店街

主催 静岡浅間通り商店街振興組合 長政まつり実行委員会
http://www.sengendori.com

後援 タイ王国大使館 タイ王国大阪総領事館 タイ王国政府観光庁
静岡商工会議所・静岡浅間神社・NHK静岡放送局
産経新聞・静岡リビング新聞社（順不同）



長政まつりへようこそ!

ナコンシータマラート県知事からのメッセージ

日タイ友好長政まつりが24回続いて大変喜んでます。それは、ナコンシータマラートと静岡が深く友好親善になるとと思います。これからますますお互いの友好がより深くなって頂きたい。

(パーヌ・ウタイラット)
ナコンシータマラート県知事
2552年9月25日(タイ暦)

จังหวัดนครศรีธรรมราชมีนโยบายที่จะ
ส่งเสริมความสัมพันธ์กับจังหวัดต่าง ๆ "มาภาคชาลิต
ครั้งที่ ๒๓(24)
แล้วทำให้ความสัมพันธ์กับจังหวัดนครศรีธรรมราช
กับจังหวัดขอนแก่นเป็นไปด้วยดี.

(นายเอกนัฏ อุทิตะรัมย์)
ผู้ว่าราชการจังหวัดนครศรีธรรมราช
25-09-2552

ナコンシータマラート県日本友好協会会長からのメッセージ

ナコンシータマラート県と静岡県が、深く友好親善であり、この友好はお互いの若者や県民を知って頂くことがとても大事だと思います。是非一人でも多くの人に参加していただきたいと思っています。

ナコンシータマラート県日本友好協会会長
テムラック チャオ

เราขอสนับสนุนความสัมพันธ์กับจังหวัดต่าง ๆ เป็นความสัมพันธ์ที่ดีซึ่ง
ขยายให้ขยายเขตจังหวัดนครศรีธรรมราช
เชื่อมสัมพันธ์กับขอนแก่น
เพื่อสร้างความสัมพันธ์ที่ยั่งยืน
นายณัฏฐ์ อุทิตะรัมย์
สมาชิกสภาผู้แทนราษฎรจังหวัดนครศรีธรรมราช

海野和弘・長政まつり実行委員会委員長からのメッセージ

日・タイ友好長政まつりも今回で24回目を迎える事ができました。今年も、商店街以外の多方面の方々からボランティアスタッフを募集して、アイデアや、お力をお借りする事が出来ました。新たな発想を取り入れ、新企画盛り沢山の楽しくおいしい長政まつりになっています。皆さん是非「浅間通りでタイ気分」おもしろ体験をお楽しみ下さい。